

傾性に対する数段階の表示を考えようという試みである(齊藤雄志)。

第3班では、各モデル内に設定されている評価、魅力、効果等の変数を整理するとともに、そこに用いられる社会指標をまとめようとしている。同時にSDで従来ほとんど扱われていない予測値の信頼帯を研究中である。

### 3. 部会の運営

月例研究会は、毎月第3木曜18時～21時、明治大学大学院会議室で行なわれる。4月末登録会員数は約45名、亀山三郎、栗原宏文、木村耕(電通大)が幹事であるが、郵便料金値上げを考え、年間郵送料500円を会員が負担することにしたので、会

員の登録がえを行ないつつある。

現行4班の班別研究を続行することを部会の方針とし、別に首都圏モデルのケース・スタディを1グループで計画している。

第1班は数名の会員に部会の事務局が加わり、国内のモデルについての資料集作製を目標としているので、モデル開発者に論文のご寄贈を下記宛お願いしたく、企業等で詳細公表が困難の場合でもごく簡単な説明文でもいただければ幸いである。

〒101 東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学11号館研究室 SD研究部会  
(Tel. 03-296-4423)

(島田俊郎宛)



## 中国・四国支部

当支部は、昭和49年度より新支部長に柴田隆史氏(広島修道大学)を迎え、事務局を近畿大学から再び広島大学に移転して活動を続けている。

49年度の支部役員は、柴田支部長、青木兼一(広島大学)、増田栄次(東洋工業)両副支部長以下支部評議員11名、支部監事2名、支部幹事8名で構成され、産業界と大学関係者が同数となっている。支部に属する地域が広範なためなるべく多くの地域で事業を開催するよう留意しているが、会員数との関係で必ずしも十分とはいえず、今後会員を増強し地域活動を充実させる必要があると考えられる。49年度のおもな活動は次のとおりである。

- (1) 支部総会、支部役員会各1回
- (2) 幹事会 5回
- (3) 講演会 6回
  - a) 49.3.12 東京大学 近藤次郎氏「大気汚染防止の諸問題」
  - b) 49.6.12 ミシガン大学 Richard Pew氏「米国企業における人間工学の現状について」
  - c) 49.6.14 松下通信 唐津一氏「ORの定着と普及について」
  - d) 49.7.11 早稲田大学 村松林太郎氏「事例を中心としたマネジメント・システム設計におけるシステム・エンジニアとシステム・

マネジャーの役割」

- e) 49.11.21 早稲田大学 春日井博氏「在庫管理の問題点と展望」
- f) 50.2.7 田淵経営研究所 田淵政夫氏「創造工学における等価変換展開理論とその応用」

同日 科学技術と経済の会 只野文哉氏「技術開発の見直しと効率化」

このうち、e)は本部の月例講演会として岡山地区で開催し、60余名参加者があり盛会であった。またf)は高松地区で開催した。残りは広島地区で開催した。

#### (4) 研究会 4回

- a) 49.3.15 広島大学 平木秀作「ライン生産システムの生産管理について」
- b) 49.7.25 松下通信 大谷正行、高松 征、及川繁峯氏「広島市の交通信号制御システムについて」
- c) 49.9.13 宇部興産 石田 甫氏「生産計画および予定原価計算へのインプット・アウトプットモデルの適用」
- d) 49.12.21 近畿大学 赤尾 守氏「呉市における廃棄物の現況と問題点」

昭和50年度の役員構成は前年度とほぼ同じであるが、活動をより充実させるため新たに支部評議員に2名、支部幹事に2名加わっていただいた。今年

度は永年の懸案であった OR 普及のための講習会を8月に開催すべく現在準備中である。講習会のスケジュール等は数回の幹事会により煮つまり、今後参加者の募集活動を開始する段階にある。また、類似した研究テーマをもつ有志による研究グループを構成して研究会活動を行なう構想について、現在幹

事会で検討中である。当面1ないし2つのグループが結成できればよいと考えている。

当支部には、現在正会員111名、学生会員10名、賛助会員6社 計127名が所属している。

(平木秀作記)



### 49年度論文審査委員

49年度の“経営科学”および“Journal of the Operations Research Society of Japan”の投稿論文の査読は、次の方々にお願いいたしました。

阿部 俊一	阿部 統	青山博次郎
朝尾 正	浅野長一郎	伊理 正夫
石川 馨	出居 茂	茨木 俊秀
卜部 舜一	江藤 肇	大野 勝久
忍田 和良	尾崎 俊治	小田中敏男
茅野 健	川野幸三郎	岸 尚
近藤 次郎	古林 隆	斎藤 嘉博
坂口 実	鈴木義一郎	鈴木 誠道
鈴木 武次	千住 鎮雄	反町 迪子
反町 洋一	高橋 磐郎	高橋 幸雄
竹内 啓	刀根 薫	成久 洋之
西田 俊夫	橋田 温	原 亨
藤沢 武久	本間鶴千代	真鍋龍太郎
牧野 都治	松田 正一	三根 久
村尾 洋	森 雅夫	山本 正明
吉田 裕		(敬称略)

会 合 (50年3月～5月) (カッコ内は出席者数)

**第7回理事会** 4.9 (10) 議題 1. 前回議事録の承認 2. 昭和49年度事業計画並びに昭和50年度事業計画承認 3. 昭和49年度収支決算書並びに昭和50年度予算承認 4. 監事報告了承 5. 昭和50,51年度役員選挙結果報告了承 6. 名誉会員推薦 7. 表彰規程の一部変更 8. OR学会文献賞授与推薦 9. 入退会の承認 10. 秋季研究発表会について 11. 春季研究発表会報告 12. 学会のあり方討論会についての報告 13. 国際会議の準備状況報告 14. その他

**第1回理事会** (新旧理事会) 4.25 (15) 議題

1. 新旧理事の交代および自己紹介 2. 前回理事会議事録の承認 3. 評議員会開催報告 4. 各委員会委員長の指名および委員・幹事の推薦 5. 入退会の承認 6. 学会経費節減について 7. 理事会の運営について 8. 会誌の発行について 9. 国際会議参加の日本代表団について 10. 理事会開催について

**第2回理事会** 6.6 (17) 議題 1. 昭和50年度

第4回通常総会議事録検討 2. 第1回理事会議事録の承認 3. 支部総会議事録の承認 4. 委員・幹事の推薦 5. 入退会の承認 6. 「オペレーションズ・リサーチのためのデータとプログラムに関する研究」情報処理研修センターより受託について 7. 49年度研究受託の完了報告 8. 50年度春季研究発表会報告 9. 編集委員会関係議事 10. 国際会議関係報告 11. その他

**IAOR 委員会** 3.5 (2)

**大会実行委員会** 3.11 (8)

**表彰委員会** 3.11 (5)

**IFORS 委員会** 3.15 (9)

**研究普及委員会** 3.20 (5)

**編集幹事会** 3.24 (4)

**庶務委員会** 3.26 (6)

**第3回 OR サロン** “造船業と OR” 3.26 (11)

**評議員会** 4.9 (9)

**IFORS・TIMS 実行委員会** 4.16 (13)

**庶務委員会** 4.18 (5)

**IAOR 委員会** 4.23 (2)

**IFORS・TIMS 委員会** 5.21 (13)

**研究普及委員会** 5.29 (10)

**IAOR 委員会** 6.3 (1)